

福岡県社保協

Fax Mail ニュース

2020.3.5 No.74

福岡県社会保障推進協議会

電話 092-483-0431

FAX 092-483-0435

E-mail syaho@f-kenren.or.jp

新型コロナウイルス感染症に対する 対策強化を求める緊急要請書提出！

3月2日(月)に福岡県社保協として県知事宛に「新型コロナウイルス感染症に対する対策強化を求める緊急要請」を提出しました。

要請内容は、①低所得者、無保険者や在留外国人をふくめ、国内にいるすべての人について必要な検査、治療を適切に受けられるようにすること ②マスク、グローブ、ガウン、アイゴーグル、消毒用アルコールなど不足している医療資機材、衛生材料について、災害用の備蓄分を供出する等の手立てを至急取るとともに、安定供給に向けて関係業者への要請を重ねて行うこと ③県として、県民の問い合わせに対応する相談体制をとること。特に保健所がない地域については自治体と協力し相談体制の強化等、特段の配慮をすることの3点です。

各地域社保協からも自治体に要望を伝えましょう。

福岡県知事 小川 洋 様

新型コロナウイルス感染症に対する対策強化を求める緊急要請

2020年3月2日
福岡県社会保障推進協議会
会長 田村 昭彦

今般の新型コロナウイルス感染症に対する貴職のご尽力に敬意を表します。

2月25日に、政府の新型コロナウイルス対策本部が感染対策の推進に向けた「基本方針」を決定し、今後1～2週間が急速な拡大に進むか、収束できるかの瀬戸際とし、感染拡大のスピードを抑え、重症患者の発生を食い止めることを掲げました。

医療・歯科医療機関、介護関係施設では、マスクや衛生材料、消毒用アルコール等の深刻な不足状況が続いています。特に医療に関しては「基本方針」で、今後地域で患者数が増えた場合に一般の医療機関でも感染を疑う患者を受け入れることが盛り込まれており、日常の診療に大きな影響が生じないよう、医療機関への十分な支援が必要です。

感染症の拡大を防ぐためには感染者を潜伏させないことが何より重要ですが、医療費の窓口負担を払えないなど経済的事情による受診抑制が生じている現状は、逆に感染者を潜伏させることとなります。感染の深刻化、感染の連鎖を防ぐためには、お金のあるなしに関係なく、検査、治療にアクセスできる対策が必要であり、そのためには財政措置の強化が不可欠です。

以下要請します。

記

- 1.低所得者、無保険者や在留外国人をふくめ、国内にいるすべての人について必要な検査、治療を適切に受けられるようにすること。
2. マスク、グローブ、ガウン、アイゴーグル、消毒用アルコールなど不足している医療資機材、衛生材料について、災害用の備蓄分を供出する等の手立てを至急取るとともに、安定供給に向けて関係業者への要請を重ねて行うこと。
- 3.県として、県民の問い合わせに対応する相談体制をとること。特に保健所がない地域については自治体と協力し相談体制の強化等、特段の配慮をすること。

以上

新日本婦人の会

新型コロナウイルス対策の小中高・特別支援学校 一斉休校についての申し入れ提出！

3月3日(火)、福岡県社保協の構成団体である新日本婦人の会が、福岡県教育委員会に対して「新型コロナウイルス対策の小中高・特別支援学校一斉休校についての申し入れ」を提出しました。

一斉休校に際して、福岡市では学童保育所で受け入れることにしていますが、狭い教室に子どもがたくさんいることで濃厚接触となり、感染のリスクは増えるのではと心配されます。子どもの安全と親の働く権利を守るためにも、国からの要請があったからと拙速に休校にするのではなく、各自治体の状況を聞き取り、現状に則した対応を望みます。

